

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です

# 専門研修(オンデマンド配信)のご案内【4~7月】

福祉人材育成センターでは、上半期に11のオンデマンド配信型の専門研修と、集合形式の研修を企画しております。(集合形式の研修につきましては、改めて広報いたします)

〈オンデマンド研修(YouTubeによる視聴)〉

～QRコードを読み取ると各研修の予告動画(各1分程度)が視聴できます(～配信期間終了前日まで)。ぜひ、ご視聴いただきご参考ください。

A: 配信期間 4/26(月)～6/25(金)		B: 配信期間 5/17(月)～7/16(金)	
①	 <p>福祉実践の担い手にとって「学ぶ」ということ 講師: 結城俊哉氏 (立教大学)</p>	⑦	 <p>尊厳の保持と自立支援 講師: 結城俊哉氏 (立教大学)</p>
②	 <p>知的障がいがある人の認知症 講師: 木下大生氏 (武蔵野大学)</p>	⑧	 <p>高齢者の生活を支援するために 講師: 小幡真也氏 (フロリール調布)</p>
③	 <p>医療的ケアって大変なことなの? 講師: 下川和洋氏 (地域ケアさぽーと研究所)</p>	⑨	 <p>高齢者の自立を支援するために 講師: 小幡真也氏 (フロリール調布)</p>
④	 <p>誰も孤立しない地域をつくるために 講師: 渡辺裕一氏 (武蔵野大学)</p>	⑩	 <p>知的障害のある人への支援 講師: 伊藤巧氏 (調布市社会福祉事業団)</p>
⑤	 <p>福祉職としてのコミュニケーションの基本 講師: 中島悦子氏 (調布市社会福祉事業団)</p>	⑪	 <p>改めて自己決定について考える 講師: 稻沢公一氏 (東洋大学)</p>
⑥	 <p>障害の理解～障害を考える視点～ 講師: 山本雅章氏 (調布市社会福祉事業団)</p>		

① ケアの学び方


福祉実践の担い手にとって

**学 ぶ** ということ

講師:結城俊哉氏 (立教大学)

- 福祉実践と「学び」の関係
- 福祉実践にとって「学び」の意味
- 援助職の「学び」について
- ケアの「学び方」について

子曰く、吾嘗て終日食わらず、終日寝ず、以て飽うも飽ない 孔子(論語より)



なぜ、福祉職に「学び」が必要なのでしょう。福祉職が日々の実践から学び続けることの意味について、結城俊哉先生にお話ししていただきます。「学ぶ」ことの動機づけが得られる研修です。【約47分】

② 知ってる?

認知症の初期サインは? 早期発見するためには? 支援者に何が出来るの?

知的障がいがある人の

**認 知 症**

講師:木下大生氏 (武蔵野大学)



ダウン症とダウン症ではない知的障がいの方の認知症状の違いや支援のポイントについて学びます。利用者の高齢化への対応が課題となっている障がい者施設の職員の方や、知的障がい者支援に携わっている方におススメの研修です。【約113分】

③ 笑いあり 涙あり

食事や呼吸が十分でない状態って? そもそも医療的ケアってなに?

医療資格のない介護職員等が医療的ケアを行える根拠とは?

医療的ケアが必要な幼児・児童の地域生活の現状

地域生活・住まいの場と在宅支援

**医療的ケアって大変なことなの?**

～医療的ケア児者の地域生活を支えるために～

講師:下川和洋氏 (地域ケアさぼーと研究所)



「医療的ケア」ってなんとなくわかるけど、良く知らないという方は多いのではないのでしょうか。下川先生がいろいろなアイテムや動画を使って、わかりやすく説明していただきます。

感動しながら学べる研修です。【約133分】

④ 連携

誰も孤立しない

**地 域**

講師:渡辺裕一氏 (武蔵野大学)

見守るって?

「上手に見守られる」ということ

コロナ禍での活動

「集まるな」から見えてきたこと

をつくるために

～福祉職ができること～



「見守る」人が実は「見守られている」という「見守り」のパラドックスのお話は、グループホームなどの施設が地域の見守りの拠点となる可能性を示唆しています。地域福祉分野の方だけでなく、地域の入所・通所施設に勤務する方にもぜひ聞いてほしい研修です。【約67分】

⑤

関係づくり

福祉が初めての方におススメ

福祉職としての  
コミュニケーションの  
**基本**


講師: 中島 悦子 氏  
(調布市社会福祉事業団 ゆずのき学童クラブ)

- バイステックの7原則
- 受容と共感のちがひ
- 欲求と意思決定
- 意思決定支援の4段階

～利用者と信頼関係を築くために～

利用者や家族と信頼関係をつくるための基本や障害のある方の意思決定支援について学ぶことができます。コミュニケーションスキルが求められる福祉職にとっておさえたい内容です。

【約79分】



⑥

基本

**障害** の理解


～障害を考える視点～

講師: 山本 雅章氏  
(調布市社会福祉事業団)

- 障害ってどう理解すればいい?
- 障害に関する法律って?
- 身体障害、知的障害、精神障害などそれぞれの特徴は?

「障害をどう捉えるのか？」障害個性論や社会モデル、基本理念の変遷などをおさえながら考えます。また障害に関する法律上の規定や各障害の特性について学ぶことができます。障害について学びたい方必見の研修です。

【約124分】※3部構成



B: 配信期間 5/17(月)～7/16(金)

⑦

虐待防止

**尊厳** **自立** の保持と支援


～高齢者虐待を考える～

講師: 結城俊哉氏  
(立教大学)

- 家族介護の限界
- 高齢者虐待の実態
- 介護うつ予防の必要性
- 介護・ケアの本質とは

なぜ高齢者への虐待が起こるのでしょうか？ケアの本質にせまりながら、ケアの担い手が健康を守りながら働くことの大切さについて結城先生がお話します。高齢者支援に関わる方に聞いてほしい研修です。

【約51分】



⑧

楽しく学べる

高齢者の **生活** を支援するために

～高齢者と家族の心理の理解～

講師: 小幡真也氏  
(フロリアル調布)

- 高齢分野の方だけでなく、障害分野の方にもおススメ
- 高齢者の知能の特徴
- 高齢者や家族の心理状態
- 認知症の特徴

「あなたは目玉焼きに何をかけますか？」小幡先生のこの問いかけは思い込みについて改めて考えるきっかけを与えてくれます。高齢者への理解をさらに深めることができる研修です。ユーモアたっぷり楽しく学べます。

【約70分】



⑨

介護予防

高齢者の自立

高齢分野の方だけでなく、障害分野の方にもおススメ

を支援するために  
～介護予防の視点～

講師：小幡真也氏  
(フロリール調布)

異性介護  
利用者を見る視点  
お世話の介護から支援の介護へ



フロリール調布の勤務歴23年の現場経験豊富な小幡先生が、たくさんの事例を交えながら、高齢者の自立について、わかりやすく説明しています。また、異性介護や障害の自立概念から見た介護についてもお話しています。  
【約50分】



⑩

基礎・理念

知的障害のある人への支援

伊藤 巧氏  
(ちょうふだぞう)

社会福祉の対象とは？  
対等な関係とは？  
エンパワメント&ストレングス  
自立生活とノーマライゼーション  
見方(価値観・理念)によって支援が変わる？  
自立生活とノーマライゼーション



「社会福祉の対象とは何か?」「援助関係とは何か?」「対等な関係とは何か?」などさまざまな問いを交えながら、人として支援することの大切さについて考えることができる研修です。  
【約87分】



⑪

必見

改めて自己決定について考える

自己決定の落とし穴

講師：稲沢公一氏  
(東洋大学)

支援関係の非対称性とは？  
「決定不能」「決定内容」「決定放棄」の3つの問題  
自己決定の目的化とは？



何が何でも「自己決定」を尊重しなければいけないという呪縛に捉われていませんか?自己決定の目的化にはらむ問題について稲沢先生がクリアに説明しています。すべての福祉職、必見の研修です。【約90分】



【問い合わせ先】  
調布市福祉人材育成センター  
(こころの健康支援センター内)  
TEL：042-452-8180 (月～金 9:00～17:00)  
FAX：042-444-3376  
メール：jinzai@ccsw.or.jp

ホームページ → 